

事業所における自己評価総括表(公表)

公表日 令和 7 年 4 月 30 日

○事業所名	多機能型福祉事業所 つくしの里 （保育所等訪問支援事業）			
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 25日		～	令和7年 3月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数)	10名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 25日		～	令和7年 3月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 2月 25日		～	令和7年 3月 19日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	15	(回答数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理士などの専門職がアセスメントしており、本人の特性・発達段階、訪問先の環境に応じた具体的な支援の提供が出来る。	事前に担当セラピスト、担当医師を交えてのカンファレンスを必要時には実施している。	訪問支援の結果から、訪問先とリハビリ内容を連携することでより充実した支援に繋がられると考える。
2	リハビリでの訓練、心理でのカウンセリングを通じて保護者との連携はとりやすい状況である。	保護者に訪問支援の事前、事後の報告を丁寧にするように意識している。	保護者の希望があれば訪問先とのカンファレンスにも参加できるように日程調整をしていく。

3	平成24年の保育所等訪問支援事業開始当初より、支援学校、地域小学校、保育所、幼稚園への訪問を実施しており、この地域でのこの事業の理解はされてきている。	訪問先への事前の関係者への聞き取りを行ったり、必要時には事後フォローとして電話連絡など関係づくりに努めている。	必要時には訪問先から当センターでの訓練場面の見学を促すようにしていく。
---	---	---	-------------------------------------

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員と訪問先との日程調整に時間を要することがあるため、急を要する場面への訪問が難しいことがある。	訪問支援員が通常業務との兼務のため調整がつきにくい。	保護者から依頼があった場合に、訪問時期の希望を把握するようにしている。
2	対象児にとって顔見知りの訪問支援員が訪問するため、対象児が意識してしまうことがある。	普段からの関わりがある訪問支援員が訪問するため。	保護者に訪問することを事前に対象児に伝えるほうが良いのか、伝えずに訪問するほうが良いのかななどを相談するようにしている。
3			